

ガス湯沸器（レンジフード型給湯器）

品番	給湯器	33-827
	レンジフード	38-506 38-507

大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06(586)3200	560
南部支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131	590
北部支社	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻 0726(71)0381	598
東部支社	茨木市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131	578
兵庫事業本	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸 078(360)3100	650
京都支社	京都市下京区中堂寺栗田町1番地	電話 京都 075(311)7381	600
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111	631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481	640
兵庫西支社	姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221	670
豊岡支社	豊岡市三坂町6-5-7	電話 豊岡 0796(23)2221	688
滋賀支社	草津市西大寺町5-3-4	電話 草津 0775(62)6311	525
滋賀東支社	彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131	522
長浜営業センター	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜 0749(62)7171	526
本社ビルサービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪 06(202)2221	541

取扱説明書

もくじ

必ずご確認ください

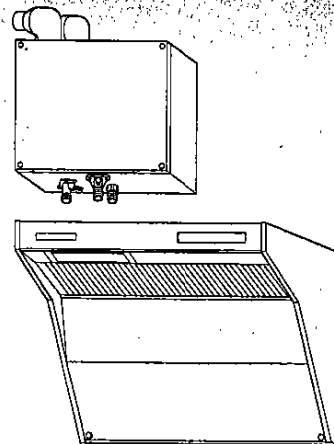
●安全上のご注意	3
----------	---

使いかた

●初めてお使いになるとき	9
●使いかた	10
●日常の点検とお手入れ	13

必要なときにお読みください

●各部のなまえ	16
●故障かな?	17
●凍結予防について	19
●仕様	21
●アフターサービスについて	22
●メモ欄	23

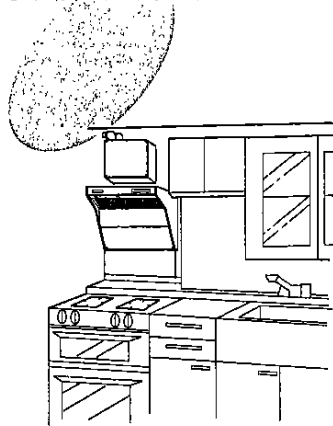


●本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく機器の寿命が縮まります。

このたびはガス湯沸器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
 ●ガス湯沸器の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
 ●この取扱説明書を紛失した場合は、もよりのガス事業者にて再購入してください。

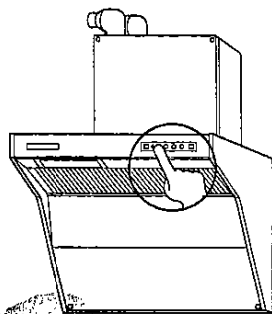
～ 特 長 ～

●台所の空間をすっきり！

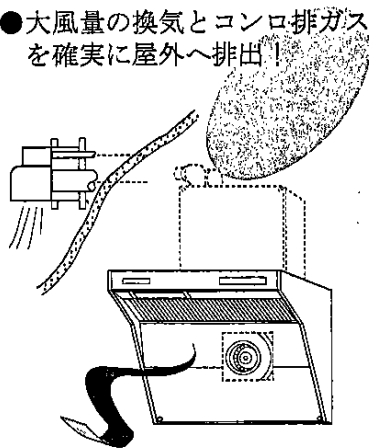


●給湯器とレンジフードを 一か所で操作！

操作スイッチをレンジフード前面に集約し、給湯能力切り換えもワンタッチでできます。

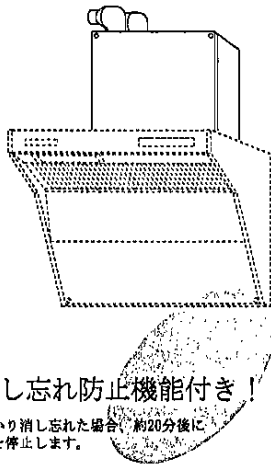


●大風量の換気とコンロ排ガスを 確実に屋外へ排出！



●消し忘れ防止機能付き！

うっかり消し忘れた場合、約20分後に燃焼を停止します。



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

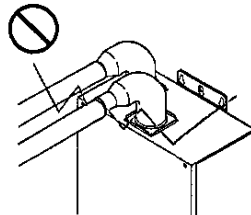
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

△危険

設置工事時のご注意

■排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない



燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

ガス漏れ時のご注意

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、もよりのガス事業者へ連絡する



そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



火気禁止

引火し、爆発・火災の原因となります。



安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う

給湯栓を閉める



すべてのスイッチを「切」にする

給水元栓・ガス栓を閉める

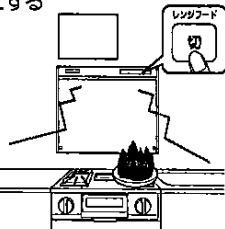


ガス供給業者に連絡する



そのままにしておく、火災の原因となります。

■油に火がついたときは、レンジフードを「切」にする



運転を続けると火の勢が強くなり、火災の原因となります。

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、すべてのスイッチを「切」にし、ガス栓を閉める



すべてのスイッチを「切」にする



ガス栓を閉める



〔旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう（P18ページ参照）〕

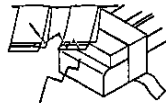
ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■機器の設置、移動の工事はもよりのガス業者に依頼する



正常に機器が設置されないと火災や機器故障の原因となります。

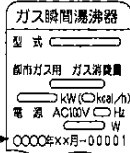
■給気口・排気トップをおおわない



火災や、異常燃焼による機器故障の原因となります。

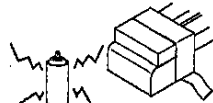
注意

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する



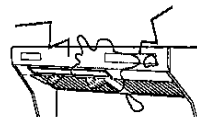
他のガス種・電源を使用すると機器が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

■スプレー缶を排気トップの前方に置かない、前方で使用しない



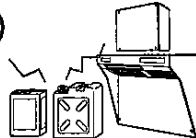
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

■モーターや、スイッチなどの電気部品は水につけたり、水をかけたりしない



ショートや感電の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない



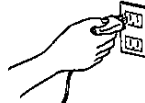
火災の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



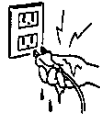
振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因となります。

■電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実に行なう



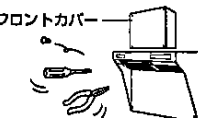
コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。

■電源プラグまたはブレーカはぬれた手で触らない



感電の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解・改造をしない（フロントカバーを外さない）



不備が生じた場合、火災や感電・機器故障の原因となります。もよりのガス業者に依頼してください。

必ずご確認ください

安全上のご注意

必ずお守りください

注意

■台所の給湯・レンジフード用として使用する

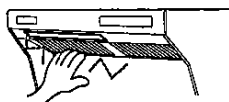


他の用途に使用すると、火災や機器故障の原因となります。

■使用中や消火直後は、フロントパネルやグリスフィルタ、排気トップ付近に触れない

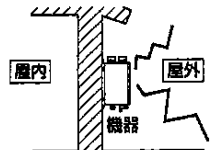


接触禁止



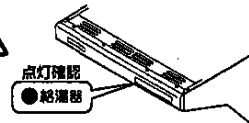
やけどの原因となります。

■屋外に設置しない



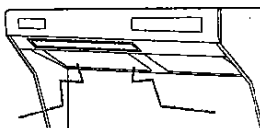
炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り、機器故障の原因となります。

■点火時、消火時、使用中はランプの点灯・消灯を確認する



確認を怠ると、機器の異常を早期に見ることができなくなります。

■グリスフィルタを外して使用しない



中でファンが回転するのだけの原因や、油やほこりなどが大量に機器内に入る原因となります。

■点検・お手入れを行なうときは、次の手順に従う



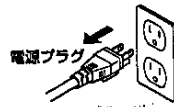
すべてのスイッチを「切」にする



給水元栓・ガス栓を閉める



電源プラグを抜く



機器が冷えてから行なう
(⇒13ページ参照)

やけどや、作業中誤ってスイッチに触れ機器が作動した場合、ファンが回転するのだけの原因となります。

■器内に長時間たまってた水や、朝一番に使用のお湯は飲まない、調理に使わない



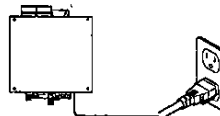
健康を損なう恐れがあります。(雑用水としてお使いください。)

■ガスコンロ使用時は、必ずレンジフードを運転させる



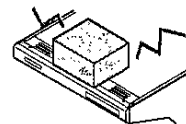
換気が不十分になり、酸欠の原因となります。

■アース付コンセントに確実に接続する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース付コンセントでない場合は、ガス事業者に依頼してください。

■機器にぶら下がったり、物を乗せたりしない



やけどや機器の転倒により、けが・機器故障の原因となります。

お願い

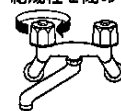
■雷時は電源プラグを抜く、またはブレーカを「切」にする



雷が落ちた場合、機器故障の原因となります。

■断水の際は、給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にする

給湯栓を閉める

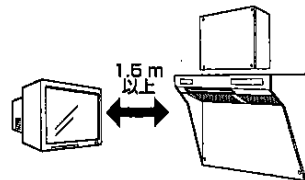


すべてのスイッチを「切」にする



そのままにしておく、機器故障の原因となります。

■テレビやラジオとは離す



上記の距離を確保しないと雑音の原因となります。

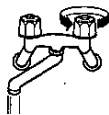
必ず
ご確認ください

安全上のご注意

必ずお守りください

お願い

■混合水栓を使用の場合、ときどき水だけを流す



給水側の水が長い間流れないと、一瞬濁った湯(赤水など)が出る場合があります。

■混合水栓を使用の場合、出口が絞られていないもの(瞬間湯沸器用混合水栓)を選ぶ

機器作動不良の原因となります。

■この機器の付属品・補助用具以外は使用しない

機器故障の原因となります。

■ガスコンロの空だきなど、高温になる使い方はしない

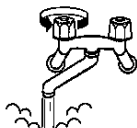
周囲温度が異常に高くなるとレンジフードの故障の原因や寿命を縮めます。

■停電の時は、給湯栓を閉める



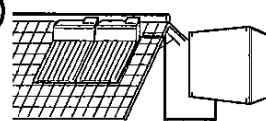
燃焼が停止し、水になります。

■夏期などぬるめのお湯が出ないときは湯量を多くして使う



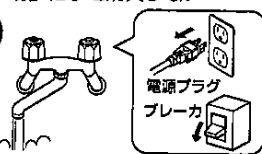
水温が高いとき湯量を絞ると、出湯温度が高くなる場合があります。

■ソーラー機器(太陽熱温水)との接続はできません



機器故障の原因となります。

■燃焼中、電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にして消火しない

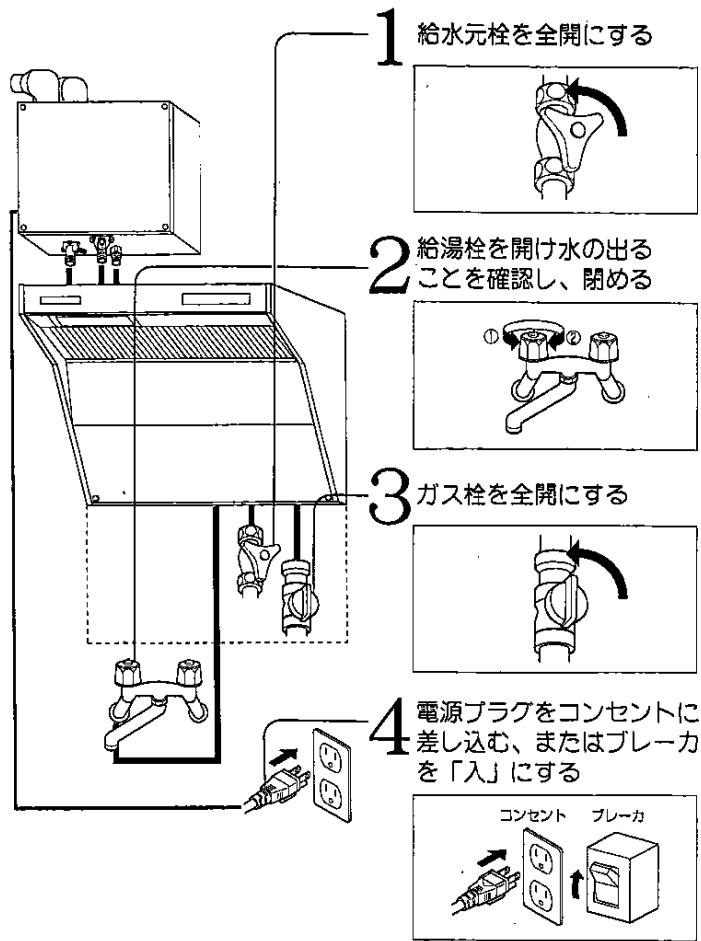


機器故障の原因となります。

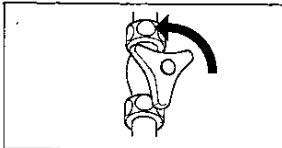
■水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

機器作動不良の原因となります。

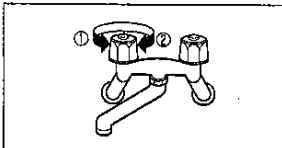
初めてお使いになるとき



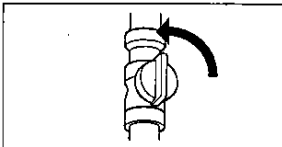
1 給水元栓を全開にする



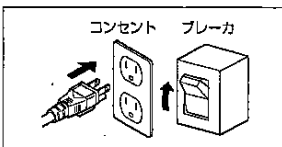
2 給湯栓を開け水の出ることを確認し、閉める



3 ガス栓を全開にする



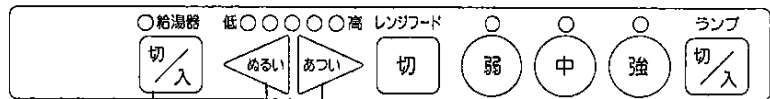
4 電源プラグをコンセントに差し込む、またはブレーカを「入」にする



必ず
ご確認ください

すぐ
使いたいとき

給湯の使いかた

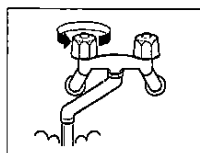


1



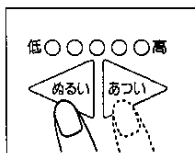
押す
(湯温表示ランプが点灯していることを確認する)

2



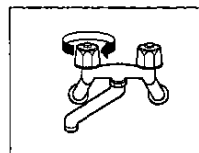
給湯栓を開ける
● 燃焼ランプが点灯。

3

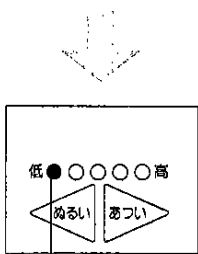


温度調節する
● 5段階で設定ができます。
温度の目安は下表を参照してください。

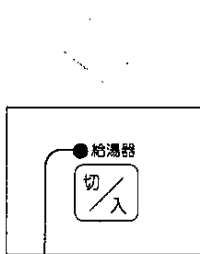
4



給湯栓を閉める
● 燃焼ランプが消灯



前回の湯温表示



燃焼ランプ



● 燃焼ランプが点滅している場合は
→ 一度給湯栓を閉め、しばらく待った後、再度給湯栓を開けてください。

すぐ
読みたいとき

表示	●○○○○	●●○○○	●●●○○	○○○●○	○○○○●
水温約20℃時の出湯温度 (水压:100 kPa (1 kgf/cm ²)時) 〔 〕内は上昇温度を示す。	約34℃ 〔水温+ 約14℃〕	約41℃ 〔水温+ 約21℃〕	約46℃ 〔水温+ 約26℃〕	約54℃ 〔水温+ 約34℃〕	約63℃ 〔水温+ 約43℃〕
出湯量 (水压:100 kPa (1 kgf/cm ²)時)	約5 L/min			約3 L/min	

レンジフードの使いかた



- 1

いずれかを押す

 - レンジフード風量設定ランプが点灯し、作動します。
- 2

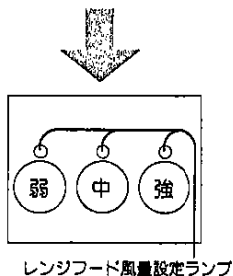
〈風量を切り換えたい場合〉

風量を切り換える

 - レンジフード風量設定ランプが消灯し、レンジフードの排気ファンが停止します。
- 3

押す

 - レンジフード風量設定ランプが消灯し、レンジフードの排気ファンが停止します。



日常の点検とお手入れ

次の要領で定期的に行なってください。

点検の方法

- 機器の異常音は？
- 外観に異常は見られますか？
- 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
- 水漏れ・ガス漏れはありませんか？

定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1～2回、もよりのガス事業者にご相談ください。

注意

- ゴム手袋を使用する
 - 使用しないと板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがの原因となります。
- 足場に気をつける
 - 高い所での作業は、転倒・落下の原因となります。

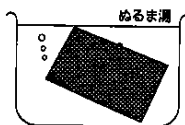
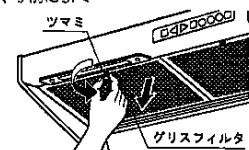
お願い

- ベンジン・シンナーなど下記のものを使用しない
 - 塗装の変質・変色・はがれの原因となります。

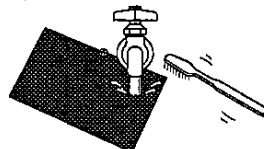
お手入れの方法

グリスマイスター (1カ月に1回程度)

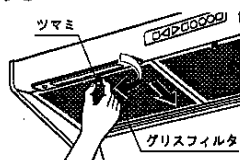
- ① グリスマイスターをはずす
 - グリスマイスターを止めているツマミをはずし、手前に引く
- ② お湯につける
 - 約40～50℃のお湯に台所用洗剤(中性)を溶かし、30分～1時間完全につける



③ 歯ブラシなどであらう



④ よく水をきり、元のように取りつける



すぐ
使いたいとき

日常の点検とお手入れ

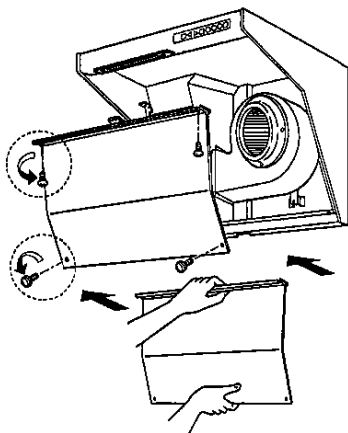
お手入れの方法

羽根

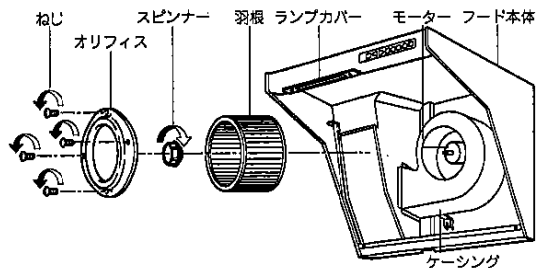
1 電源プラグを抜く

2 フロントパネルをはずす

- ① フィルターをはずす
- ② フロントパネルを止めているねじをはずす (4個)
- ③ フロントパネルを持ち上げる



3 羽根をはずす

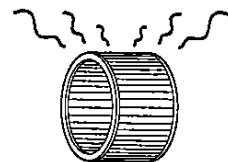


4 羽根をそうじする

(3カ月に1回程度)

① たわしなどで洗う

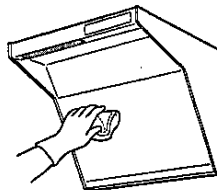
② 十分乾燥させる



5 逆の順序で組み立てる

フロントパネル (1カ月に1回程度)

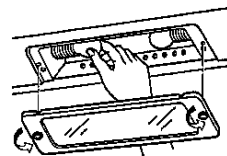
布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる



【お願い】
強く押しつけてふかない! (変形する恐れがあります。)

電球の交換

① ランプカバーのねじをゆるめる (2個)

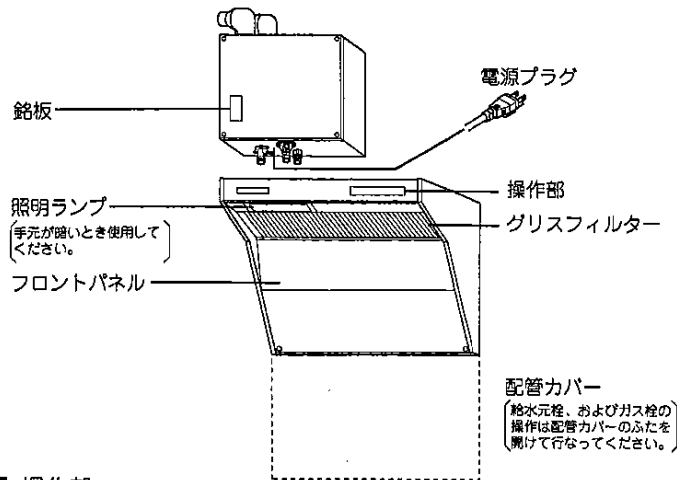


② 電球を交換する
(三二電球 110 V 25 W)

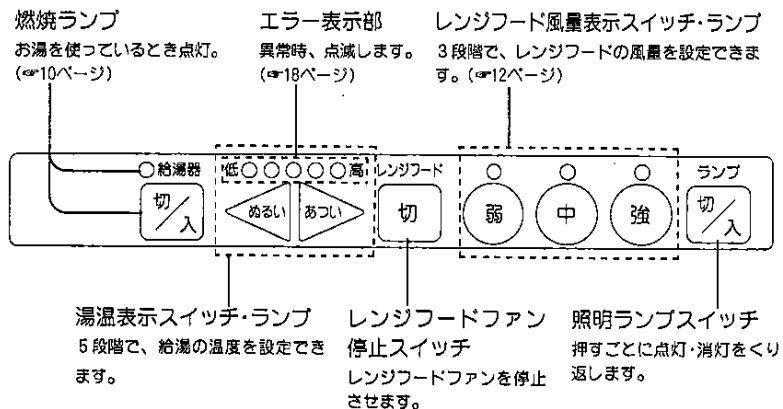
すぐ
戻したいとき

各部のなまえ

■ 外 観 ※右排気、左排気の2タイプがあります。図は左排気タイプの場合です。



■ 操作部



故障かな！？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認ください、それでも直らないときや原因のわからないときは、ガス事業者へご連絡ください。

症状

ご確認ください

運転(燃焼)しない

- 電源プラグがしっかり差し込まれていますか。ブレーカが「入」になっていますか。
- 銘板に記載のガス種を使用していますか。
- ガス栓が全開になっていますか。
- 給水元栓が全開になっていますか。
- 断水していませんか。
- 凍結していませんか。
- 停電していませんか。
- ガス配管に空気が残っていませんか。
→点火操作をくり返す。(☞10ページ)
- 水ストレーナが詰まっていますか。
- 運転スイッチが「入」になっていますか。

お湯があつくならない

- ガス栓が全開になっていますか。
- 湯と水の量の調節は適切ですか。

低温の湯がでない

- 給水元栓が全開になっていますか。
- 水ストレーナが詰まっていますか。

レンジフードのファンが回らない

- 電源プラグがしっかり差し込まれていますか。ブレーカが「入」になっていますか。
- 停電していませんか。

照明ランプが点灯しない

- 電源プラグがしっかり差し込まれていますか。ブレーカが「入」になっていますか。
- 停電していませんか。

もし
必要などとき

故障かな！？

● 次のような場合は故障ではありません。

症状	理由
寒い日に排気トッパから湯気がでる	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯を長時間使用すると止まる	消し忘れ防止機能が働いたためです。一度給湯栓を閉め、しばらく待ってから再度給湯栓を開けてください。

● 異常時には安全装置が働きます。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 バーナーの炎が消えた場合 | 立消え安全装置 |
| 2 過電流が流れた場合 | 電流ヒューズ |
| 3 空だきした場合 | 空だき安全装置 |
| 4 機器の温度が異常に上昇した場合 | 過熱防止装置 |
| 5 電気回路に漏電が生じた場合 | 漏電安全装置 |
| 6 機器内の水圧が異常に上昇した場合 | 過圧防止安全装置 |

上記1～5の安全装置が働いた場合

運転スイッチを「切」にし、ガス栓を閉め、もよりのガス事業者へ連絡してください。

● 操作部のランプでエラーをお知らせします。

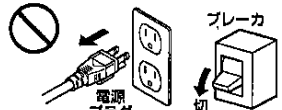
ランプの表示 (●はランプの点滅を示します。)	原因	処置方法
●給湯器 低 ●○○●高 	空だき安全装置が働いたためです。	一度給湯栓を閉めて、しばらくしてから給湯栓を開けると使用できます。(たびたび発生する場合は、もよりのガス事業者に連絡してください。)
○給湯器 低 ●○○●高 	給湯を約20分以上連続で使用したためです。	一度給湯栓を閉めて、しばらくしてから給湯栓を開けると使用できます。

上記以外のランプが点滅する場合、もよりのガス事業者に連絡してください。

凍結予防について

通常は自動保温します
(外気温0～-15℃で無風のとき)

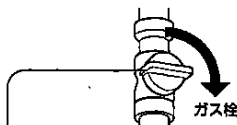
● 運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。



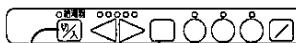
電源プラグは絶対に抜かないでください。

ブレーカは絶対に「切」にしないでください。

給湯栓から水を出す
(冷え込みが厳しいとき)



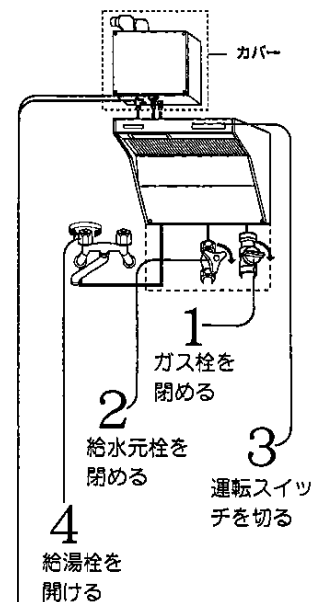
1 ガス栓を閉める



2 運転スイッチを切る

3 給湯栓を開け、
水を出しつづける

水抜きをする
(旅行など、長期不在のとき)



5 水抜き栓を開ける(2カ所)

(容器で受けてから、水抜き栓を開けてください。)

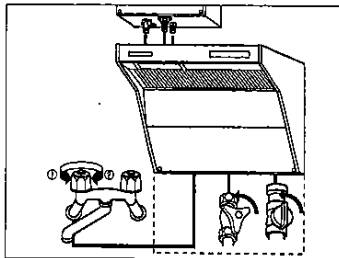
※給湯器の前面にカバーがある場合は、カバーを外してください。

※配管・バルブの凍結予防はできません。

もし
必要なとき

凍結予防について

水抜き後の再使用のとき



1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は9ページの「初めてお使いになる
とき」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

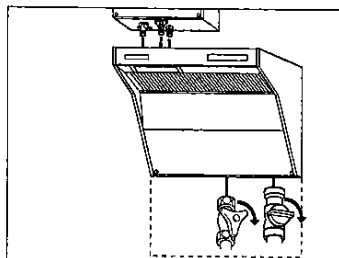
3 給湯栓を開け、水を出し、 閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込む またはブレーカを「入」にする

6 運転スイッチを押す

凍結して水が出ないとき



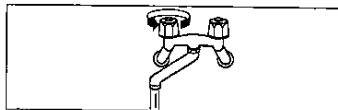
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 運転スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

5 ときどき給水元栓を開け 水が出ることを確認する



- 凍結したまま使わないでください。
- 凍結による修理は有料です。

仕様

機種名	ガス湯沸器 (レンジフード型給湯器)					
品名	給湯器部: 33-827、レンジフード部: 38-506/38-507					
種類	給湯方式	先止め式				
	給排気方式	強制給排気式				
点火方式	連続放電点火式					
水圧	使用水圧	50~500 kPa (0.5~5 kgf/cm ²)				
	作動水圧	30 kPa (0.3 kgf/cm ²)				
外形寸法	給湯器部	高さ 310 mm×幅 340 mm×奥行 190 mm				
	レンジフード部	高さ 520 mm×幅 590 mm×奥行 600 mm				
質量	本体	18 kg (レンジフード部)+14 kg (給湯器部)				
接続	ガス	15A (R ¹ / ₂)				
	給水	15A (R ¹ / ₂)				
	給湯	15A (R ¹ / ₂)				
	給湯器部・給排気管	φ40 mm				
電気関係 (W)	レンジフード排気ダクト	φ150 mm (自在型・クランク型・延長型)				
	電源	AC100 V 60 Hz				
	消費電力	レンジフード「強」	80			
		レンジフード「中」	57			
	使用時	レンジフード「弱」	42			
		給湯使用時	41 (給湯・レンジフード同時使用時:120)			
	ランブ	凍結予防ヒーター	64			
		ランブ	25×2コ			
	コンセント接続時	約5				
	電源コードの長さ	1.5 m				
レンジフード風量	468 m ³ /h					
給湯能力切換	約5.2号~約2.6号					
消し忘れ防止機能	20分					
安全装置	立消え安全装置・空だき安全装置・漏電安全装置・過熱防止装置 過圧防止安全装置・電流ヒューズ・誘導雷保護装置・凍結予防ヒーター					
付属品	取付ねじセット(1コ)・ 그리스フィルタ(2コ)・取扱説明書 工事説明書					
別売品	側面カバー・配管カバー・給排気トップ・給排気管・排気ダクト					
使用ガス	型式名	一時間当たりのガス消費量 kW(kcal/h)		出湯能力 (L/分) 水圧: 100 kPa (1 kgf/cm ²) (最大)		
使用ガスクレール		最大	最小	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス用	13A	GW-5RH5F	11.7 (10 100)	6.51 (5 600)	(5.2)	3.3
LPガス			—	—	—	—

●出湯能力の()内は、水温+25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

もし
必要などき

アフターサービスについて

●サービスのお申込み

- 17～18ページの「故障かな?」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店または、大阪ガス支社にご連絡ください。なおご連絡いただくときは次のことをご知らせください。

(1)品 名…………… (ガス湯沸器)

(2)品 番…………… 機器正面に貼付してあります。

(3)現 象…………… (できるだけ詳しく)

(4)道 順…………… (できるだけ詳しく)

(N) 33-827 (U)

大阪ガス株式会社

07

●保証書について

- このガス湯沸器は保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この「取扱説明書」とともに大切に保管してください。

メモ欄

もし
必要なとき